

2) 感染症指定医療機関の病床を活用する。
感染症指定医療機関の状況(2005年(平成17年)10月1日現在)

- 特定感染症指定医療機関数: 3 (病床数8床)
- 第一種感染症指定医療機関: 23 (病床数45床)
- 第二種感染症指定医療機関: 305 (病床数1,635床、うち陰圧病床917床)

3) 感染症指定医療機関の病床では隔離患者の対応に不足が生じる場合、結核病床のうち陰圧病床の空床を利用する。

結核病床の状況(2005年(平成17年)10月1日現在)

- 結核病床を有する医療機関数: 307
- 結核病床数: 12,279床
- 陰圧病床数: 3,305床

[パンデミック時の医療の確保]

1) パンデミック期に、最大10万1千人と想定される入院患者を受け入れる医療機関について、都道府県の実情に応じ、公的医療機関等を中心に、リストを作成するよう都道府県に要請する。(例、入院医療機関として、以下の機関において優先的に対応する。)(厚生労働省)

- 感染症指定医療機関及び結核病床をもつ医療機関
- 医療法に定める公的医療機関(自治体立病院、日赤、済生会病院等)
- 国立病院機構、国立大学法人、労働者健康福祉機構における医療機関

2) 都道府県に対して、指定医療機関における必要な医療機材、パンデミック時の増床の余地に関して調査を行い、確保に努めるよう要請する(例:PPE、レスピレーター、迅速診断キット、簡易陰圧装置)(厚生労働省)

3) 診断、治療、院内感染対策、患者の移送に関するガイドラインの策定を行い、医療機関に周知する。(厚生労働省)

- 感染性、症例定義等の変更によるガイドラインの見直しを随時行う。
- トリアージ方針(新型インフルエンザ疑い患者の指定医療機関受診への誘導の仕方)を決

定する。

- 外来の制限、患者受け入れ体制の指針の作成を行う。

4) 新型インフルエンザに対する高感度検査キットの開発を促進する。(厚生労働省)

5) 都道府県及び医療機関、その他関係機関と協力し、国内発生を想定したシミュレーション演習を行う。(厚生労働省)

病院における評価項目

- 地域との連携
- 生物テロ対応の行動マニュアルの作成
- 教育と反復練習
- 患者のトリアージと診断治療
- 感染予防、除染、蔓延防止と隔離
- 感染拡大のサーベイランス
- 災害時における、治療能力の拡大
- 感染に対する検査機関の充実
- 医薬品とワクチンの備蓄および供給
- 患者および医療従事者の安全と精神的支援
- 情報公開、共有

C. 研究結果

評価項目:

1) 地域における生物テロ災害に対する基盤整備の評価

地域での、達成率を自己評価してください

1. 地域で、ワクチン、解毒剤と医薬品を提供するために、準備ができていますか



2. 地域で、生物テロが発生したときに、十分な検査施設と対応が可能であるか



3. 地域で、生物兵器(炭疽菌など)などの専門的知識を持つ研究員を確保できているか



4. 地域で、生物テロに対して十分に対応できる研究所を持っているか

0-25% 26-50% 51-75% 76-100%

5. 地域で、生物テロを早期発見できるサーベイランスシステムを保有しているか

0-25% 26-50% 51-75% 76-100%

6. 地域での病院は、生物テロにおける対応計画を持ち、非医療施設（例えばコミュニティセンター、スポーツアリーナまたはホテル）が、地域の連携に組み込まれているか

0-25% 26-50% 51-75% 76-100%

7. 地域では、アウトブレイクした場合に対応する医療従事者の供給、継続医療の計画、サポートシステムができていますか

0-25% 26-50% 51-75% 76-100%

8. 地域の病院は、感染の疑いがあった場合、24時間のいつでも専門家との即時（15分以内）電話相談が、できるシステムになっているか

0-25% 26-50% 51-75% 76-100%

9. 地域病院の医療従事者は、伝染性の生物テロ発生時に優先的にワクチンまたは抗ウイルス剤を投与できるシステムが構築されているか

0-25% 26-50% 51-75% 76-100%

10. 地域の病院では、呼吸不全患者が大量発生した場合に、十分な人口呼吸器装置の備蓄（10台以上）とその他の必要物品の準備ができていますか

0-25% 26-50% 51-75% 76-100%

生物テロ発生時における非常事態計画と準備に対する調査票（病院用）

病院名： _____

住所： _____

記入者名： _____

（担当部署および役職）： _____

連絡先： _____

電話： _____

携帯： _____

F a x : _____

E-mail : _____

貴病院においては、地域でのインフルエンザの大流行・新興感染・生物テロの発生時には、早期発見および対応において重要な役割を果たすことと考えます。

今回の調査により、貴施設の対応能力を調査し、今後、このような感染症が大量に発生した場合に、一人でも多くの方々が救命されることを目的として使用させていただきます。

質問の多くは、はい・いいえ・分からないの簡単な回答のみです。

ご協力の程よろしく申し上げます

一般診療情報と緊急時における診療情報について

あなたの病院においての一日平均入院患者数は何名ですか？ _____名

あなたの病院での病院職員数は何名ですか？ _____名

入院ベッド数（届け数）： _____ベッド

（小児ベッド数： _____ベッド）

ベッド回転率： _____%

緊急事態における12時間以内に入院可能なベッド数（ベッド回転率とオーバーベッドを考慮して教えてください：緊急時には届け出ベッド数に関係なく、施設の許容量で考えてください）： _____ベッド

集中治療室において

入院ベッド数（届け数）： _____ベッド

（小児ベッド数： _____ベッド）

ベッド回転率： _____%

緊急事態における12時間以内に入院可能なベッド数(ベッド回転率とオーバーベッドを考慮して教えてください:緊急時には届け出ベッド数に関係なく、施設の許容量で考えてください): _____ ベッド

救命救急センター(施設がある場合において)

入院ベッド数(届け数): _____ ベッド

(小児ベッド数: _____ ベッド)

ベッド回転率: _____ %

緊急事態における12時間以内に入院可能なベッド数(ベッド回転率とオーバーベッドを考慮して教えてください:緊急時には届け出ベッド数に関係なく、施設の許容量で考えてください): _____ ベッド

産婦人科において

入院ベッド数(届け数): _____ ベッド

ベッド回転率: _____ %

緊急事態における12時間以内に入院可能なベッド数(ベッド回転率とオーバーベッドを考慮して教えてください:緊急時には届け出ベッド数に関係なく、施設の許容量で考えてください): _____ ベッド

精神科において

入院ベッド数(届け数): _____ ベッド

ベッド回転率: _____ %

緊急事態における12時間以内に入院可能なベッド数(ベッド回転率とオーバーベッドを考慮して教えてください:緊急時には届け出ベッド数に関係なく、施設の許容量で考えてください): _____ ベッド

(注):施設の許容ベッド数とは、緊急事態発生しにおいて12時間以内に、職員の数および施設のベッド配置を考慮して、届け出ベッド数に関係なく最大限増加可能なベッド数である。

(例えば、廊下・講堂を利用した場合や緊急を要さない予定手術や予定入院患者を中止して確保できる入院ベッドも含まれる。)

あなたの病院の月間手術件数は、_____ 数

あなたの病院で、緊急事態におけるベッド拡張計画をお持ちですか:

はい・いいえ・分からない

地域との連携

あなたの病院は、これまでに地域での緊急備蓄会議に参加したことがありますか?

: はい・いいえ・分からない

あなたの地域で生物テロの対応について講習会が開かれたことがありますか?

: はい・いいえ・分からない

あなたの病院の緊急事態行動計画は、地域の緊急事態計画と連携がとれていますか?

: はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、地域において情報公開を行っていますか?

: はい・いいえ・分からない

入院患者のための医療従事者数: はい・いいえ・分からない

空床ベッド数の開示: はい・いいえ・分からない

地域の他の病院の状況を得られるか: はい・いいえ・分からない

地域における空床ベッド数の情報: はい・いいえ・分からない

地域における入院感染患者の情報を得られるか: はい・いいえ・分からない

地域におけるインターネットによる感染症情報ネットワークはあるか

: はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、地域全体での緊急事態における外来患者の対応を検討していますか?

: はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、緊急事態において近隣の病院や医療関連施設との間に、入院患者の受け渡しの協定を結ばれていますか?

: はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、緊急事態において、医師会、保健所、市との連携により入院患者の受け渡しの協定を結ばれていますか?

: はい・いいえ・分からない

医療従事者および患者家族に対する精神的ストレスに対する地域治療連携

： はい・いいえ・分からない

十分な検査、治療、終末医療の供給に対する地域連携

： はい・いいえ・分からない

大量の免疫対応とワクチンなどの予防策に対する地域連携

： はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、緊急事態において救急部門を拡張することを地域の医療関係者に宣言する連携はとれていますか

： はい・いいえ・分からない

病院の安全を強化するために、地域の協力（警察、行政など）は得られますか？

： はい・いいえ・分からない

地域の医療行政機関（保健所）に対して24時間いつでも連絡可能か？

： はい・いいえ・分からない、

連絡方法

市および県の医療行政機関に対して24時間いつでも連絡可能か？

： はい・いいえ・分からない、

連絡方法

他の特別な機関_____に対して24時間いつでも連絡可能か？

： はい・いいえ・分からない、

連絡方法

県および地域の保健行政の連携は十分可能か？

： はい・いいえ・分からない

教育と反復練習

あなたの病院は、生物テロの教育を職員に対して実行しましたか？

： はい・いいえ・分からない

はいと答えた人のみ記入してください

最後の教育したのはいつですか？

誰に対して教育が行われましたか？

医療スタッフ：はい・いいえ・分からない

看護職員：はい・いいえ・分からない

健康診断/看護学生：はい・いいえ・分からない

研修医：はい・いいえ・分からない

事務職員：はい・いいえ・分からない

細菌検査スタッフ：はい・いいえ・分からない

教育を受けるのは義務ですか？

はい・いいえ・分からない

どれくらいの間隔で、生物テロの教育を職員に対して行っていますか？

季節ごと

半年ごと

年一回

数年に一回

誰が、あなたの病院職員に生物テロ教育を行っていますか

病院職員

外部の専門家

その他

分からない

どのような教育方法で行われていますか？

講習会

グループ学習

コンピューター教育

ビデオ教育

模擬実習

その他（記入してください）

あなたの病院職員は、だれか一人でも外部で行われている生物テロ教育に参加しましたか？

はい・いいえ・分からない

生物テロ対応の行動マニュアルの作成

あなたの病院の緊急行動計画マニュアルには、感染症が大量発生（例：インフルエンザ流行、新興感染、生物テロなど）した場合も、含まれていますか？

はい・いいえ・分からない

はいと答えた人のみ記入してください

どれくらいの頻度で計画書を改編および変更していますか？：

感染症が関係しているあなたの最後の演習の日付は、いつでしたか？

どのように、あなたの生物テロ対応計画は始められますか？

どのように、病院の中の病院職員と医療スタッフは、計画の開始について通知されますか？

どのように、提携された医療スタッフは、計画の開始について通知されますか？

どのように、病院は計画についての職員の知識をモニターしますか？

あなたの病院は、生物テロ対策における準備する担当責任者がいますか？

： はい・いいえ・分からない

患者のトリアージと診断治療

あなたの病院内でトリアージ担当者は、存在するか？

： はい・いいえ・分からない

大量の患者のトリアージは、可能か？

： はい・いいえ・分からない

トリアージを行う場所と行動計画はあるか？

： はい・いいえ・分からない

大量患者が来院した場合の、外来診療場所を確保する計画があるか？

： はい・いいえ・分からない

院内でトリアージ訓練を行ったことがあるか？

： はい・いいえ・分からない

担当する診療科を、事前から検討しているか？

： はい・いいえ・分からない

生物テロの診断する手順を、担当する医師は理解しているか？

： はい・いいえ・分からない

生物テロの診断する手順を、担当する看護師は

理解しているか？

： はい・いいえ・分からない

生物テロの診断する手順を、担当する検査技師は理解しているか？

： はい・いいえ・分からない

あなたの病院で、現在稼働できる人工呼吸器は何台ですか？ _____台

あなたの地域で、長期間借用できる呼吸器は、何台ですか

あなたの病院は、臨時的に人工呼吸器を借りたことがありますか、月に何台ですか？

あなたの病院は、緊急事態に人工呼吸器を借りられる方法を持っていますか？

： はい・いいえ・分からない

方法を持っているなら

最大何台借りられますか？ _____台

どのぐらいの時間で手に入りますか？ _____

必要ならば余分のベンチレータを提供する地域全体の計画が、ありますか？

： はい・いいえ・分からない

もし可能なら

4時間以内に何台ですか？ _____台

8時間以内に何台ですか？ _____台

あなたの地域の他の病院は、同じ供給場所ですか？

： はい・いいえ・分からない

感染予防、除染、蔓延防止と隔離

職員に対する感染防御対策は、万全か？

： はい・いいえ・分からない

標準的感染防御の方法は、職員全員に理解されているか？

： はい・いいえ・分からない

病院内を、感染ゾーンと非感染ゾーンの区分けをすることは可能か？

： はい・いいえ・分からない

感染防御のためのマスク、ガウン、手袋は、十分に供給されるか？

： はい・いいえ・分からない

衣服についての感染物質を除染する方法を知っ

ているものは職員にいますか？
： はい・いいえ・分からない
衣服について感染物質を除染する器具を持っているか？
： はい・いいえ・分からない
院内で除染訓練を行ったことがあるか？
： はい・いいえ・分からない
患者の汚染物質を感染の拡大なく廃棄することは十分にできているか？
： はい・いいえ・分からない
簡易式感染隔離ベッドは可能か？
： はい・いいえ・分からない

感染拡大のサーベイランス

あなたの病院には、患者の症状から感染症サーベイランスシステムがありますか？

はい・いいえ・分からない

もしあるならば

- 救急患者
- 入院患者
- 外来患者の主訴
- インフルエンザ様症状のモニター
- 抗生物質使用量の推移モニター

これらの情報は電子的に自動的に集められるか、手でされますか？

誰が、何時、この情報を集めますか？

救急部において、一連の症状を持った患者が多く来院した場合に、誰にどうやって報告しますか？

病院の感染対策室、責任者に対して 24 時間いつでも連絡可能か？

： はい・いいえ・分からない、

連絡方法 _____

病院内の他の連絡体制に対して 24 時間いつでも連絡可能か？

： はい・いいえ・分からない、

連絡方法 _____

地域の医療行政機関（保健所）に対して 24 時間いつでも連絡可能か？

： はい・いいえ・分からない、

連絡方法 _____

市および県の医療行政機関に対して 24 時間いつでも連絡可能か？

： はい・いいえ・分からない、

連絡方法 _____

他の特別な機関 _____ に対して 24 時間いつでも連絡可能か？

： はい・いいえ・分からない、

連絡方法 _____

災害時における、治療能力の拡大

あなたの病院で、緊急事態におけるベッド拡張計画をお持ちですか？

はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、職員を緊急時に臨時に増員することが可能ですか？

： はい・いいえ・分からない

はいと答えた人のみ記入してください

どこで、臨時職員を招集するのですか？

- 人材派遣会社
- 勤務時間の変更にてやり繰りする
- 患者／看護師の比率を臨時に変更する
- 県や他の市町村に応援を依頼する
- その他 _____

今までに、緊急事態時に他の病院と連携して人材の援助を受けたことがありますか？

： はい・いいえ・分からない

今までに、救急部門、小児科、産婦人科などの医療従事者の人員不足を経験したことがありますか？

： はい・いいえ・分からない

はいと答えた人のみ記入してください

どの部署において、看護婦の緊急時のオンコール体制を行っていますか？

一般内科： はい・いいえ・分からない

小児科： はい・いいえ・分からない

外科： はい・いいえ・分からない

集中治療部： はい・いいえ・分からない

救急部： はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、緊急事態時に何%ぐらいの看護職員を増強できますか？

あなたの病院は、緊急事態時に予定手術を中止する計画が含まれていますか？

： はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、緊急事態時に、ベッドを確保するため入院患者を緊急退院させる計画が含まれていますか？

： はい・いいえ・分からない

はいと答えた人のみ記入してください

誰が、どの患者が早く退院させるか決めますか？ _____

これは、あなたの医療スタッフと共同で一致した方針ですか？

： はい・いいえ・分からない

退院を早期決定する固定メンバーがいますか？

： はい・いいえ・分からない

緊急事態時に、あなたの病院は、廊下を利用することができますか？

： はい・いいえ・分からない

可能ならば

どのぐらいのベッド数を廊下におくことができますか？

あなたの病院のコンピューターは、入院区域外（廊下など）の入院患者を把握し、操作可能ですか？

： はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、廊下入院した場合の患者さんのプライバシー保護を提供できる方策がありますか？

： はい・いいえ・分からない

緊急事態時に、あなたの病院は、廊下以外に講堂、会議室、食堂などを病室にする計画は、ありますか？

： はい・いいえ・分からない

もしあるならば

どの場所ですか？ _____

プライバシーは維持できますか？

： はい・いいえ・分からない

これらの患者の治療器具の供給は？

酸素： はい・いいえ・分からない

水道水： はい・いいえ・分からない

医薬： はい・いいえ・分からない

浴室/シャワー： はい・いいえ・分からない

トイレ： はい・いいえ・分からない

吸入： はい・いいえ・分からない

モニタリング装置： はい・いいえ・分からない

コンピュータアクセス： はい・いいえ・分からない

手洗い： はい・いいえ・分からない

飲食物： はい・いいえ・分からない

電話： はい・いいえ・分からない

過去5年で、あなたの病院では、緊急事態により、届けで病床数を越えて入院を確保したことがありますか？

： はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、緊急事態において近隣の病院や医療関連施設との間に、入院患者の受け渡しの協定を結ばれていますか？

： はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、緊急事態において、医師会、保健所、市との連携により入院患者の受け渡しの協定を結ばれていますか？

： はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、緊急事態において外来時間を延長して、一般診療をおこなうシステムは確立されていますか？

： はい・いいえ・分からない

可能ならば：

外来職員の超過時間をどうしますか？

今まで緊急事態で、外来職員の超過勤務させたことはありますか？

： はい・いいえ・分からない

今まで、外来診療時間を緊急事態において延長したことがありますか？

： はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、地域全体での緊急事態における外来患者の対応を検討していますか？

: はい・いいえ・分からない

あなたの病院の行動計画書には、緊急事態に勤務しなければならない職員に対するサポートについて

子供の世話: はい・いいえ・分からない

家族介護者の世話: はい・いいえ・分からない

ペットの世話: はい・いいえ・分からない

職員の寝る場所の確保: はい・いいえ・分からない

職員の食事: はい・いいえ・分からない

職員の予防薬投与: はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、緊急事態に救急部門を特に重視し、病院全体を方向転換できますか?

: はい・いいえ・分からない

もしそうなら

緊急事態に方向転換する基準は何ですか?

誰が決定しますか? _____

感染に対する検査機関の充実

あなたの病院の細菌検査部門は 24 時間勤務体制ですか?

: はい・いいえ・分からない

あなたの病院の細菌検査部門はどんな診断能力がありますか? (あてはまる全てをチェックします)

- 最低限の細菌検査
- 培養、同定、感受性検査
- 分子生物学的検査 (PCR など)
-

あなたの病院の検査室は、Biosafety レベル (BSL) 能力は、いくつですか?

- BSL 1 (個体および地域社会に対する低危険度)
- BSL 2 (個体に対する中等度危険度、地域社会に対する軽微な危険度)
- BSL 3 (個体および地域社会に対する高い危険度)

毎日あなたの病院での細菌検査室で処理される検査量は、いくつですか?

喀痰検査: _____ 数

血液検査: _____ 数

尿検査: _____ 数

緊急事態において、あなたの病院での細菌検査室で処理される最大推定検査量は、いくつですか?

喀痰検査: _____ 数

血液検査: _____ 数

尿検査: _____ 数

あなたの病院には、生物テロに対する検査室のプロトコールがありますか?

: はい・いいえ・分からない

医薬品とワクチンの備蓄および供給

あなたの病院は、緊急事態に感染症に対する抗生物質と災害必需品の備蓄が行動計画書に含まれていますか?

: はい・いいえ・分からない

もし含まれているなら

あなたの病院は、生物テロの場合に病院スタッフを扱うために、現在抗生物質以外にストックはありますか?

: はい・いいえ・分からない

どんな抗生物質が、どのくらい貯蔵されますか?

Name/名前 _____

Unit Doses/単位服用

Doxycycline/ドキシサイクリン _____

Tetracycline/テトラサイクリン _____

Ciprofloxacin/シプロフロキサシン _____

Levaquin/ _____

Gentamicin/ゲンタマイシン _____

Tobramycin/トブラマイシン _____

どれくらい速く、必需品はアクセスされることが出来ますか?

あなたの病院は、地域の住民に対して提供するために、抗生物質 (ドキシサイクリン (シプロフロキサシン)) 備蓄もしくは 12 時間位内の手配が可能ですか?

： はい・いいえ・分からない

どれくらい、これらの必需品を補充することは、時間がかかりますか？

どのように、あなたはこれらの必需品を得るでしょうか？

あなたの地域の他の病院は、同様に、同じところから供給を受けますか

： はい・いいえ・分からない

患者および医療従事者の安全と精神的支援

医療従事者および患者家族に対する精神的ストレスに対する院内対応はできるか？

： はい・いいえ・分からない

医療従事者の十分な検査、治療できるか？

： はい・いいえ・分からない

医療従事者の大量の免疫対応とワクチンなどの予防策に対する対応は可能か

： はい・いいえ・分からない

大量死亡患者の管理は可能ですか？

： はい・いいえ・分からない

もし可能なら

霊安室機能とスタッフを増やすことは可能か？

： はい・いいえ・分からない

ご遺体の除染作業および隔離方法は十分か？

： はい・いいえ・分からない

霊安室の能力が越えたときのバックアップシステムはあるか？

： はい・いいえ・分からない

霊安室における、感染拡散防止の環境管理は可能か？

： はい・いいえ・分からない

あなたの病院は、緊急事態において感染症に対する十分な必需品（食べ物、リンネル類と患者介護用品を含む）を48時間位内に供給できるシステムを持っていますか？

： はい・いいえ・分からない

簡易式ベッド、シーツ、毛布と枕は、十分に供給可能か？

： はい・いいえ・分からない

大量の患者のトリアージは、可能か？

： はい・いいえ・分からない

緊急事態における病院運営の資金は十分にあるか？

： はい・いいえ・分からない

情報公開、共有

あなたの病院は、病院内において情報公開を行っていますか？

空床ベッド数の把握

： はい・いいえ・分からない

常に病院のベッド状況情報を得られるか

： はい・いいえ・分からない

地域における空床ベッド数の情報

： はい・いいえ・分からない

院内における入院感染患者の情報を得られるか

： はい・いいえ・分からない

院内におけるインターネットによる感染症情報ネットワークはあるか

： はい・いいえ・分からない

D. 考 察

生物テロは、従来の災害とは異なり、犠牲者の除染を行う、医療従事者の二次感染を予防する、伝染を封じ込めるためにその対応が特殊であることが特徴的である

このような特殊な災害に対して準備を行い、地域における基盤整備を充実させるためには、災害対応の基盤における継続したサイクルでの準備が重要となる

我が国においては、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律が制定され、感染症等の指定等の特例として、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認めるときは、同条第七項の規定にかかわらず、当該疾病を同項の指定感染症として指定することができることとなった。

また検疫感染症以外の感染性の疾病が発生し、又は発生するおそれがある場合において、当該疾病について、検疫を行わなければその病原体が国内に侵入し国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認めるときは、当該疾病を感染症の種類として指定し、当該感染症の潜伏期間を考慮して、同条第一項の停留の期間を定めることができる。その他に埋

葬及び火葬の特例、保健衛生の確保への協力なども盛り込まれている。

これを受けて、厚生労働省は、国民保護計画を作成し、その中にNBC攻撃による災害への対処として平素からの備えとして職員の研修、汚染された水の給水制限、食品の管理を行うこととなっている。

特に生物テロが起こった場合には、データ解析等サーベイランス（疾病監視）、汚染地域の範囲及び感染源を特定し、被災者の救助、医療体制の確保、迅速な原因物質の特定、汚染地域の範囲の特定及び除染の実施等汚染の拡大の防止のために必要な措置を講ずる。と記載されている。

これらを受けて、都道府県レベルにおける対策計画が立案されようとしているのが現状であるが、日本全国の地域において、生物テロが起こった場合の医療体制の確保は、ほとんどできていないのが現状であると考ええる。

災害対応の基礎基盤における重要な要素として1) 指揮命令系統 2) 災難対応従事者の役割と責任を定める。3) 包括的統合を、地域において病院および関係機関と構築しなければならない。4) 災害時に必要な施設、患者搬送および資源の供給システムの構築。5) 災害対応従事者の安全確保。6) 十分な治療体制。7) 十分な人的確保。8) 情報提供と共有などがあげられるがこれらの要素組み込んだ地域レベルと病院での基盤整備が重要となる。このため今回、我々は、地域と病院の基盤整備の評価シートを作成することにより、実際の生物テロ攻撃が発生した現場において有用な基盤整備の基本となることを期待した。

- 1) 地域での作成項目は、地域で、ワクチン、解毒剤と医薬品を提供するために、準備ができていますか
- 2) 地域で、生物テロが発生したときに、十分な検査施設と対応が可能であるか
- 3) 地域で、生物兵器（炭疽菌など）などの専門的知識を持つ研究員を確保できているか
- 4) 地域で、生物テロに対して十分に対応できる研究所を持っているか
- 5) 地域で、生物テロを早期発見できるサーベイランスシステムを保有しているか
- 6) 地域での病院は、生物テロにおける対応計

画を持ち、非医療施設（例えばコミュニティセンター、スポーツアリーナまたはホテル）が、地域の連携に組み込まれているか

- 7) 地域では、アウトブレイクした場合に対応する医療従事者の供給、継続医療の計画、サポートシステムができていますか
- 8) 地域の病院は、感染の疑いがあった場合、24時間のいつでも専門家との即時（15分以内）電話相談が、できるシステムになっているか
- 9) 地域病院の医療従事者は、伝染性の生物テロ発生時に優先的にワクチンまたは抗ウイルス剤を投与できるシステムが構築されているか
- 10) 地域の病院では、呼吸不全患者が大量発生した場合に、十分な人工呼吸器装置の備蓄（10台以上）とその他の必要物品の準備ができていますか

を基準として、各都道府県レベルにおける基盤整備基本として参考になる項目を抽出した。今後、各都道府県の比較がなされるようになれば、強化しなければならない地域が明らかになり、より効率的に基盤整備が進捗すると考える。

病院における生物テロ災害準備の評価として

1. 地域との連携
2. 生物テロ対応の行動マニュアルの作成
3. 教育と反復練習
4. 患者のトリアージと診断治療
5. 感染予防、除染、蔓延防止と隔離
6. 感染拡大のサーベイランス
7. 災害時における、治療能力の拡大
8. 感染に対する検査機関の充実
9. 医薬品とワクチンの備蓄および供給
10. 患者および医療従事者の安全と精神的支援
11. 情報公開、共有。

大項目において検討し、細部においては、実際の生物テロ発生時における病院の詳細な行動計画を記載し評価することにより、地域の災害拠点病院が、日常から、このような基盤整備ができていますことを確認することにより、実際に災害発生時に十分な対応が可能であると考ええる。当然、現時点では、どの基幹病院においても十分でないことは容易に推測できるが、この

ような評価シートを作成し、指針となる方向性を示すことにより、少しずつではあるが改善されることが十分に期待される。

E. 結 論

生物テロに対する地域および病院の基盤整備評価ツールの開発することにより、指針となる方向性を示すことが可能となり、各都道府県の地域および病院のより効率的に基盤整備が進捗すると考える。

F. 健康危険情報

とくになし。

G. 研究発表

1. 論文発表なし。

2. 学会発表

全日本病院協会主催

災害医療フォーラム（平成18年3月11日）

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし